

Press Release

2016年8月2日

共和薬品工業が塩野義製薬より長期収載品の製造販売権を取得

共和薬品工業株式会社は、2016年8月1日、塩野義製薬株式会社より長期収載品 21 製品の製造販売権を承継することに合意したことをお知らせします。以下は、本件についてルピン社（インド・ムンバイ）が2016年8月2日に発表した資料の翻訳になります。なお、資料の内容および解釈については英語版が優先されます。英語版は www.lupin.com をご参照ください。

ムンバイ、2016年8月2日：大手製薬会社 Lupin Limited（以下ルピン社）は、日本の子会社である共和薬品工業株式会社（本社：大阪、代表取締役社長：角田礼昭 以下「共和薬品」）が、日本の大手医療用医薬品会社塩野義製薬株式会社（本社：大阪、代表取締役社長：手代木功、以下「塩野義製薬」）から、21 製品の長期収載品を譲り受けることに2016年8月1日付けで合意した、と発表しました。この合意に基づき、共和薬品は、クロージングに関する一定の条件および必要な薬事行政手続の実施を前提として、これらの製品の販売権を塩野義製薬より2016年12月1日に譲り受け、その後順次製造販売承認を承継していきます。

塩野義製薬は、創薬型製薬企業としてグローバルに成長していくことをビジョンに掲げ、その経営資源を疾患領域と販売エリアの選択と集中に向け、将来の成長を支える画期的新薬の創出ならびに継続的なビジネスオペレーションの強化に取り組んでいます。塩野義製薬は、この成長戦略の一環として、今般、ルピン社の子会社である共和薬品にこの 21 製品を移管するものです。共和薬品は、国内のジェネリック企業の中でもトップ 10 に入る存在であり、幅広い品揃えを行うとともに、特に精神神経科の領域では「共和 AMEL」のブランドとして親しまれ、市場をリードする存在となっています。今回の承継により、共和薬品は 6 位にランクアップすることが想定されます。今般承継する 21 製品は精神神経科、がん、循環器、感染症の治療領域にわたり、合計の売上規模は薬価ベースで 94 億円（9,000 万ドル）になります。

本件承継に関し、ルピン社のマネジング・ディレクターであるニレッシュ・グプタ氏は、以下のように述べています。「今般の承継により、世界各地でスペシャルティ・ビジネスを拡大・強化するというルピンの経営方針に沿って、日本のブランド薬市場への参入が実現します。今回譲り受ける製品ポートフォリオは、既存の共和薬品のビジネスとの親和性が高く、精神神経領域などの同社の既存事業を深化させ、より幅広い顧客のニーズを満たすことが可能となります。」

ルピン社の日本・アジア太平洋地域プレジデントのファブリス・エグロ氏は、以下のようにコメントしています。「日本は我々にとって非常に重要な市場です。今般の承継品は、共和薬品の精神神経科領域など既存のビジネスと強いシナジーがあり、より幅広い顧客に我々の製品を届けることが可能になり、我々の将来に向けた成長計画を、さらに加速させることができると考えています。」

塩野義製薬の代表取締役社長兼 CEO である手代木功氏は、以下のようにコメントしています。「国内の医療用医薬品市場において、塩野義製薬のような創薬型製薬企業の重要なミッションは、優れた品質の新薬を生み出し、それを必要とする患者様にお届けすることです。今般の共和薬品との合意を通じて、当社が革新的な新薬の探索によりいっそう集中しながら、高品質な長期収載品を必要とする患者様に確実に届け続けるという、私たちの使命の両面を実現できることとなり、非常に嬉しく思います。」

販売移管日

2016年12月1日

本件合意により、対象21品目の売上は2016年12月1日以降共和薬品にて計上し、塩野義製薬は、共和から154億円を受領する予定です。

共和薬品工業株式会社について

1954年に創業された共和薬品は日本市場の患者さまのために、ブランド医薬品及び後発医薬品の開発・製造・販売を行っています。2016年3月期の売上規模は250億円であり、最も成長率の高い医薬品企業のひとつです。また、循環器や消化器などの領域で幅広い製品を取り揃え、特に、精神神経科領域では、精神科病院1,400のうち約94%をカバーし、ジェネリック医薬品企業としてトップクラスのシェアとなっています。高品質な医薬品として知られる「共和アメル」のもと、精神神経科領域では特に高いブランド価値を有します。

共和薬品に関するより詳しい情報については <http://www.kyowayakuhin.co.jp/> をご参照ください。

ルピン社について

インドのムンバイ市に本社を置き、イノベーション主導の多国籍型医薬品企業として、幅広い品揃えの高品質で安価なジェネリック医薬品、ブランド医薬品、バイオ医薬品および医薬品原体（API）を開発・製造しています。抗結核薬およびセファロスポリンにおいてグローバル市場をリードし、循環器系、糖尿病、喘息、小児科領域、中枢神経系、消化器系、感染症領域、非ステロイド系抗炎症剤等において大きな市場シェアを獲得しています。

また、ルピン社は米国市場で 5 番目に大きいジェネリック医薬品企業（処方件数ベース）で、Top10 のなかでは最も成長の速い企業でもあります。世界売上ではインド企業としては第 3 位の医薬品企業であり、日本、南アフリカにおいても、上位 10 社の中で最も成長の速いジェネリック医薬品企業の一つとなっています。

ルピン社の 2016 年 3 月期の連結売上高および連結当期利益は、それぞれ 137,016 百万ルピー（約 20.9 億米ドル）および 22,707 百万ルピー（約 347 百万米ドル）です。

ルピン社に関するより詳しい情報については <http://www.lupin.com> をご参照ください。

塩野義製薬について

塩野義製薬は「常に人々の健康を守るために必要な最もよい薬を提供する」という経営理念のもと、研究開発型の製薬企業として、患者さまに最もよい薬をグローバルに提供することに注力しています。感染症、疼痛・神経領域を研究開発の重点疾患領域とし、さらに、肥満・老年代謝性疾患や腫瘍・免疫疾患など、新たな疾患領域の研究開発にも取り組んでいます。塩野義製薬は、これらの疾患領域における革新的新薬の提供を通じて、世界中の皆さまの健康と QOL の改善に貢献してまいります。詳細はホームページをご覧ください。 <http://www.shionogi.co.jp>

なお、今般承継の対象となるのは下記の製品となります。

記

		販売名
1	睡眠誘導剤	リスミー錠 1mg,2mg
2	睡眠誘導剤・抗痙攣剤	ベンザリン錠 2,5,10、細粒 1%
3	抗うつ剤	スルモンチール錠 10mg,25mg、散 10%
4	精神神経用剤	ウインタミン細粒 10%
5	抗不安剤	レスミット錠 2,5
6	精神神経用剤	ヒルナミン筋注 25mg、錠 5mg,25mg,50mg、散 50%、細粒 10%
7	片頭痛・緊張性頭痛治療剤	ミグリステン錠 20
8	精神神経用剤	ノバミン筋注 5mg、錠 5mg
9	副交感神経興奮剤	ワゴスチグミン注 0.5mg,2mg、散 0.5%
10	セフェム系抗生物質	ケフラル細粒小児用 100mg、カプセル 250mg
11		L-ケフラル顆粒
12		ケフレックスシロップ用細粒 100,200、カプセル 250mg
13		L-ケフレックス顆粒、小児用顆粒
14	胃粘膜防御機構増強 胃炎・胃潰瘍治療剤	ウルグートカプセル 200mg
15	消化酵素剤	ベリチーム配合顆粒
16	胃炎・消化性潰瘍用剤	コランチル配合顆粒
17	急性循環不全改善剤	ドブトレックス注射液 100mg、キット点滴静注用 200mg,600mg
18	アンジオテンシン変換酵素阻害剤	ロンゲス錠 5mg,10mg,20mg
19	経口血糖降下剤	ジメリン錠 250mg,500mg
20	遺伝子組み換え型 インターロイキン-2 製剤	イムネース注 35
21	遺伝子組み換え型 インターフェロン-γ 製剤	イムノマックスγ注 50,100



本件に関するお問い合わせ先：

共和薬品工業株式会社 経営企画室

TEL : 06-6308-3262 FAX : 06-6308-7140

Email: kyowa-info@kyowayakuhin.co.jp

ルピン社

Shamsher Gorawara

Head – Corporate Communications

TEL : +91-98 20 338 555

Email : shamshergorawara@lupin.com

塩野義製薬株式会社 広報部

TEL : 06-6209-7885 FAX : 06-6229-9596